

<実習目標>

地域基盤型/志向性医学教育の考えを基に以下を目標とする

- ①診療所医療の実際、特に地域における役割を知る
- ②日常的な健康問題・疾患のマネジメントを理解し、ある程度実践できる
- ③医療面接、身体診察の基本と日常的な検査の特性を知り、論理的な診断推論ができる
- ④在宅医療の経験を通して、外来・入院医療との違いを知る
- ⑤予防医療、特に予防接種、乳幼児健診、特定健診、（がん検診）の実際を知る

<実習場所と期間>

当院（トータルファミリーケア北西医院）にて、2週間、9時開始 17時頃終了、研修日は月から金曜日の当院診療カレンダーに基づく。

ただし休診日が多い場合、土曜日午前も検討する

<実習方略①>

9時からの午前外来と午後の訪問診療+外来 16時まで、それぞれ振りかえりを行う
振りかえり時にはわからなかったこと、驚いたこと、気になったことなどを午前最低3つ
午後1つは用意する。

外来研修を16時ころまで行い、その後課題を決め、レポート作成のための自習とする。

課題は1日を振り返って、その中から特に気になったもの等を設定する

レポートは翌日午前外来終了後の振り返り時に発表する（発表時間は10分間程度、形式は自由）

<実習方略②>

研修1週目後半から主に午前外来において、数名の患者の医療面接と身体診察を行い、自ら診療計画（診断と鑑別診断）を立て、報告し、フィードバックを受け、最後に診療録をまとめる。

第1週の金曜日に3～5分間自己紹介をパワーポイントで行う）

第2週の金曜日に30分間、多職種による勉強会の講師を務める（実習終了発表会）。

<実習方略③>

1歳半、3歳健診、BCG、学校健診、介護認定審査会などの医師会業務を見学する。

迅速検査以外も希望があれば予防接種、採血、点滴などを実際に行う

最終日には窓口業務、調剤、外来看護、病児保育の見学を行う
応接室兼職員研修室で UpToDate、DynaMed、今日の臨床サポート等の検索が可能、また
当院蔵書の閲覧が可能（無断持ち出し厳禁）である

<実習方略④>

ショートレクチャー

- ①身体診察Ⅰ：バイタルサイン、頸静脈、心音、呼吸音など
- ②身体診察Ⅱ：眼底、鼓膜、神経スクリーニングなど
- ③介護保険と主治医意見書、訪問看護指示書の書き方
- ④風邪（成人編）：鑑別診断や抗菌薬の適応など
- ⑤風邪（小児編）：発熱の診かたや熱性けいれんなど
- ⑥乳児健診（主に1（2）、4、10ヶ月+1歳半、3歳）
- ⑦高齢者総合機能評価：主に認知機能評価（MMSE）
- ⑧高血圧のマネージメント：初診から継続外来まで
- ⑨糖尿病のマネージメント：初診から継続外来まで
- ⑩気管支喘息（COPD）のマネージメント：初診から継続外来

<1日のスケジュール>

9:00～12:20 外来診療
12:20～12:50 外来診療振り返りと前日のレポート発表
12:50～14:00 昼休み
14:00～15:30 訪問診療同行
15:30～16:10 外来診療
16:10～16:15 本日の振り返りと課題設定
16:15～17:00 レポート作成

<注意点>

身だしなみに注意してください：男性はネクタイ、ケーシー、スクラブ(+白衣)どれかを
着用ください

宿泊場所から徒歩、バスによる通勤は可能ですが、昼休み時の外出を考え、自転車はお貸
しします

外来診療、訪問診療の見学中はオーバーなリアクションをしないよう心がけてください

外来診療の見学は指定された部屋（2診）は自由ですが、診療終了後は席を外してくださ
い

外来診療、訪問診療見学中に生じた疑問はなるべく振り返りの時間にご質問ください
昼食の宅配弁当希望の場合は当院事務長にお申し出ください

実習期間中は当院職員として時間厳守、あいさつを励行してください

<院外実習>

4月15日あずみ苑（高齢者施設）

4月22日でらーと（重心施設）訪問

BCG（13：15～）

<課題図書>

第1週 藤沼本 p3～P102（79）

第2週 HAPPY1～83 + 児玉論文（HOME）